

動物科学科3年 小倉千怜さん

海外実習派遣での抱負語る！

飛騨高山高・小倉さん 海外派遣

米国などで農業・畜産業体験

飛騨高山高校三年の小倉千怜さん（一七）は飛騨市が、七月八日に米国などで行われる農業に関する海外実習に参加する。六月二十七日に飛騨市役所を訪れ、意気込みなどを語った。

海外実習事業は県教委が一九七八年に、広い視野を持つ農業後継者を育成しようとした。四十二回目となる今回は、新型コロナ禍の影響で四年ぶりの派遣となり、県内の農業高校生十人が参加。七月十四日～八月五日に米国、ブラジル、



7～8月に米、ブラジル、オランダで実習する小倉さん（飛騨市役所で）

オランダで、現地の農業や畜産業を体験して学ぶ。

小倉さんは、同校に入学した当初は動物園などの飼育員を目指していたが、鹿児島県で昨年開かれた「全国和牛能力共進会」に携わったのを機に、牛に関心を持ち、今回の海外実習への参加を決めた。

「共進会に行って岐阜の農家と仲良くなり、農家さん一人一人の飛騨牛への熱い思いを知った」という小倉さん。実習では「情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）を使った最新の技術や、世界的な物価高騰をどうやって乗り越えているのかを知りたい。将来は飛騨牛の生産に携わりたいので、他のブランドの戦略などを見てきたい」と意欲を語った。（吉本章紀）